

UNHCR 駐日事務所

〒107-0062
東京都港区
南青山6-10-11
ウェスレーセンター
Tel 03-3499-2011
Fax 03-3499-2272
www.unhcr.org/jp/

2017年9月11日

バングラデシュ緊急支援、ファーストリテイリングの柳井氏から 100 万米ドルの寄付

国連難民高等弁務官事務所（以下、UNHCR）は本日、バングラデシュに新たに避難してきたロヒンギャ難民への人道支援活動に対する、ファーストリテイリングの柳井正代表取締役会長兼社長個人からの 100 万米ドルのご寄付を歓迎いたします。

2017 年 8 月 25 日にミャンマーのラカイン州北部で発生した武力衝突以降、バングラデシュには推定 31 万 3000 人の難民が流入しています（9 月 10 日現在）。UNHCR はクトゥパロンとナヤパラの難民キャンプで支援活動を展開しており、シェルター、食糧、衣料およびその他の支援物資の配布を含む人命救助に関わる支援を行っています。

柳井氏とユニクロは、2006 年より難民や国内避難民と UNHCR の活動を支援しています。世界的に影響のあるビジネスリーダーとして、難民問題の重要性の啓発に努め、ビジネス界からの支援を喚起するとともに、個人として UNHCR に寄付を行ってきました。柳井氏のリーダーシップの下、ユニクロは難民や UNHCR の活動への支援を拡大しています。

ユニクロは 2011 年にアジアで初めての UNHCR のグローバルパートナーになりました。同社の支援は多岐にわたり、ユニクロの顧客から集めた衣料の寄贈、アジアとヨーロッパにおける難民の雇用、UNHCR の情報発信・啓発活動への支援、またアジアにいる難民の自立支援と緊急対応への多大な寄付を行っています。特に、バングラデシュのロヒンギャ難民に対しては 2012 年より毎年衣料寄贈を行い、これまでに寄贈した衣料は合計 4 万 7000 着以上に上ります。さらに日本のユニクロ店舗では、ロヒンギャ難民のスタッフを雇用しています。

UNHCR のケリー・クレメンツ副高等弁務官は、「この度のミスター柳井からのご寄付は、難民と難民を受け入れている国に対しての多大なる支援の一環です。この寛大な支援は、迅速な対応を求められる、バングラデッシュでの人道危機に対して、非常に意義深いものです。ミスター柳井とユニクロは革新的な難民支援の先例をうち立て、多くの企業がこれに続くことを願っています。今回のような大規模で深刻な人道危機は、政府や支援機関だけが対応し得るものではありません。ビジネス界も含めた我々すべてが行動を起こすことが必要です」と述べています。

大勢のロヒンギャ難民が日々バングラデシュに到着しています。彼らの多くが広大な水田やジャングルを渡り、バングラデッシュ南東部の国境を越えて避難してきます。また、いまだに多くの人々が、生命の危険を冒してベンガル湾をボートで渡ってきています。現在、1990 年以降最大規模の難民流入がバングラデッシュで起きています。

本件に関するお問い合わせ：
広報官 守屋 03-3499-2042